

2006.9.1.発行

# Challenge Road

SINCE 1961

学校法人 トヨタ名古屋整備学園  
トヨタ名古屋整備専門学校

〒452-8567 愛知県西春日井郡春日町落合一番割1  
TEL:052-400-3611 FAX:052-400-3615  
学校新聞編集局 発行責任者 藤田 紀一郎  
URL <http://www.toyota-tcn.ac.jp>  
E-mail [gakuseibu@toyota-tcn.ac.jp](mailto:gakuseibu@toyota-tcn.ac.jp)



Vol.4

## 海外研修

### ■アメリカを肌で感じた、盛りだくさんの西海岸コース

西海岸コースを選択した423名の学生が、4班に分かれ、5月15日～5月28日に7日間の研修旅行に参加しました。

西海岸コースの研修旅行のスタートは、サンフランシスコ。「ロンバートストリート」を散策してアメリカの人々の生活環境を実感し、世界一美しい橋と呼ばれている「ゴールデンゲートブリッジ」に感嘆し、さらには以前刑務所があった「アルカトラズ島」も見学して、サンフランシスコならではの観光地を巡りました。また、トヨタとGMの合併会社である「NUMMI」の工場を見学することで、アメリカでもトヨタの生産方式が根付いていることに誇りを持ちました。

次にラスベガスへ移動し、超一流のダイナミックなエンターテイメントショーに歓喜し、リムジンを借り切ってラスベガスの街の走行も体験しました。世界最大の深谷である「グランドキャニオン」では、全員が壮大な景観に息を呑みました。

ロサンゼルスでは、「全米日系人博物館」を見学してアメリカに移住した日本人のフロンティアスピリットと苦勞を学び、「EL CAMINO」という整備専門学校では、先生や学生とバーベキューを囲みながら交流しました。楽しみにしていた本場「ユニバーサルスタジオ」では、日本では体験できない本物の映画セットにただただ感動し、アメリカのカー用品店「ベップボーイズ」では、日本とのスケールの違いに圧倒されました。「米国トヨタ」では、ア

メリカの市場動向、トヨタの販売・サービスについて2時間のプレゼンテーションを受け、理解を深めました。「メジャーリーグ観戦」では、イチロー、城島などの日本人選手の活躍を生で観戦することができました。

参加した学生すべてが、「百聞は一見に如かず」を実感。日本とアメリカの文化やスケールの違いをさまざまな視点から見ることによって、一回りも二回りも成長してくれたように感じます。



NUMMI社



グランドキャニオン



サンフランシスコ湾

### ■“自動車のメッカ”デトロイトを中心に実施する東海岸コース

東海岸コースを選択した155名の学生は3班に分かれて、7日間(5月15日～5月28日)の研修旅行に参加しました。

まず、アメリカへ入国した後にカナダへ渡り、「ナイアガラ瀑布」の大自然を堪能した後、ナイアガラカレッジでは現地の大学生とバーベキューを通じ、言葉を越えたコミュニケーションをしました。

このコースのハイライトは、トヨタ自動車の開発拠点のひとつである「トヨタテクニカルセンター」の見学でした。一般には絶対に見学できないトップシークレットのデザイン開発現場を当校理事長(トヨタ自動車副社長)の特別なはからいで見ることができ、学生たちは大感激!トヨタ直営校ならではの企画でした。

ここでは、米国の部品・材料の試験や評価から、排出ガスの検定や技術的調査までの車両の研究・開発を実施しています。特に北アメリカ向けのトヨタ製品のデザイン研究開発の分野で極めて重要な役割を担っています。今回は実験評価、デザイン評価、CADを活用した組み付けシミュレーションの3パートを3ローテーション

ンでじっくりと見学することができ学生たちは大満足でした。

モータウンと呼ばれる自動車の本場、デトロイトでは自動車王国アメリカの歴史や奥深さを知った「ヘンリーフォードミュージアム」、大自然に生息する無数のワニに驚いた「フロリダ湿原」、スケールの違いを見せつけられた「ケネディー宇宙センター」。そして、「デイトナUSA」ではNASCARの迫力に魅了されたり、本場アメリカのテーマパークに堪能した選択コース。

などなど、全員が日本では味わえないような貴重な体験をするともに忘れられない思い出を作りました。



フロリダ湿原



ケネディー宇宙センター



デイトナUSA

# インターンシップ

## 夏休みの職場体験

学生達は、夏休み期間を利用して地元のトヨタ・ダイハツ販売会社やトヨタ関連企業のインターンシップ(体験実習)に参加しました。連日真夏日となり、暑い中での実習は決して楽な作業ではなかったはずですが、体験した学生からは、「現場作業の無駄の無さとスピードに驚いた。プロの凄さを実感した」「一つ一つの作業には意味があり、どれも大切な事柄だと改めて気づいた」「学校でのオイル交換作業と違い、実際は熱いという事が分かり、火傷に注意した安全作業をしようと体で学習できた」「インターンシップ中の気持ちを維持しながら、今後の学校での勉強に取り組みたい」等の声が多く、有意義な時間を過ごせたことが伝わってきました。



# Job Seminar

## 校内就職セミナー

### 今年の就職セミナーを聞いた学生は大変にラッキーだった!

入学して3ヵ月を経た自動車整備科1年生を対象とし、これからの就職活動に役立つ目的で7月6日(木)に校内就職セミナーを開催しました。はじめに、2003年に卒業した先輩の「愛知トヨタ自動車株式会社 サービス課 竹内新司」様より、販売会社サービスエンジニアの業務内容や学生と社会人との違い等をお話いただきました。続いて「ネットトヨタ愛知株式会社 管理部課長 甲村芳裕」様から、就職活動のコツや在学中に学ぶマナー教育の必要性等を分かりやすくお話いただきました。「あいさつ、4Sは車の基本性能みたいなものだ」という内容が印象に残りました。最後に当校の自動車整備科2年生が、就職活動における対処や準備について等の体験談を披露し、1年生は既に内定した先輩の話を目を輝かせながら熱心に聞き入っていました。学生は今回の講演を聞き、早速、販売会社の資料請求や夏休み中の会社説明会、会社訪問の申し込みを始めた様子で、就職相談室も、連日溢れんばかりの大盛況となっています。同時に、職員とすれ違う際の挨拶が、元気づけ気持ちの良いものとなっていたのが印象的でした。このセミナーにより、1年生の就職意欲にスイッチが入った事は間違いのないようです。



TOYOTA

# OB・OG紹介

1981年に当校を卒業し、ネットトヨタ中部株式会社 ネットプラザ日進中央 店長として活躍されている掛布敏章氏に、学生時代のエピソードや当校の学生への期待などについて語っていただきました。掛布敏章氏は、2005年12月号のアエラにご活躍の姿が取り上げられました。現在、ネットトヨタ中部株式会社ではサービスを軸とした店舗総合営業を進めています。



ネットトヨタ中部株式会社 ネットプラザ日進中央 店長 掛布 敏章氏

**●学生時代のエピソード**  
学生時代は中学や高校の頃とは比較できないほど、必死に勉強しました。試験問題も難しかったので、放課後もよく残って勉強していましたね。努力すればただそれに応えてくれる環境が整っていたので、理解できるまで徹底的に勉強しました。特に思い出深いのはエンジンの授業かな。ちょうどキャブからEFIへ変わった時期だったし、何より追試が多かったので当時の荒木先生には、だいぶお世話になりました。それから、勉強以外で

は、挨拶、身だしなみなども徹底的に鍛えられましたね。  
**●仕事にまつわるエピソード**  
今の自分の根本をつくったと言っても過言ではない出来事がありました。入社したばかりの頃、お客様からクルマの不具合について相談を受けたことがあるんです。その時、「そういうもんですよ。問題ありません。」と現車を確認せずに即答したことがあるんです。そうしたら、お客様から「君は口でクルマを直すのか!」と、鋭い指摘を受けました。自分はプロの整備士だし、見ないでも分かるという勝手な思い込みがありました。お客様のその一言のお陰で、状況を確認し、現地現物で確認した上で説明するという、当たり前作業手順を徹底することができるようになりました。あのお客様の一言は今でも心に響いています。

**●店長としてのモットー、信念**  
“お客様にクルマを買っていただくには、サービス(整備士の技量など)が充実していなければならない”という信念を持っています。これを“販サ連携”と呼んでいます。当店では毎週1回、販売とサービススタッフ全員が参加してミーティングを行っています。お客様の満足度を向上させるためには販売とサービススタッフの壁を取り除くことが必要であると考え、お互いに改善点や要望などを出し合っています。こういったミーティングの積み重ねにより、お客様に支持される店舗づくり、会社づくりができるのだと考えています。いい店舗と悪い店舗の違いは、社員にやるべきことを伝え、徹底して取り組むことができ

るかどうかの一言につきます。そういう環境づくりができる店舗は伸びていくだろうし、そういった店舗が増えていけば必ずと会社として伸びていくと思います。

**●トヨタ名古屋整備専門学校の学生に期待すること**  
トヨタ名古屋校では、最先端の教育環境の中で、最先端のクルマが勉強できます。だから、トヨタ名古屋校卒だというプライドを持って、その経験を仕事に生かして欲しいです。私のトヨタ名古屋校に対する評価は、勉強・挨拶どれをとってもNO.1です。現在サービス出身の店長は、全国で約4割を占めております。サービス出身者への期待が集まっていますので頑張ってください。



ネットプラザ日進中央

## 同窓会発足15周年記念式典

同窓会の発足15周年を記念して、7月2日(日)に産業技術記念館(トヨタグループの博物館)で、総会と記念式典を行いました。当日は200名以上の同窓生や教職員が出席し、会場は懐かしい顔であふれました。総会では同窓会発足以来在任の大谷会長が退任し、新会長として、1969年卒業生で現在はネットトヨタ富山株式会社の常務取締役、原島義正氏が就任しました。また会長以外の役員も同日選出されました。

### 記念講演

記念講演では、元F1ドライバーで現在はテレビなどで活躍中の片山右京氏による記念講演会や、同窓生・教職員の懇親パーティーが盛大に行われました。記念講演会「負けても僕はへこまない!チャレンジのすすめ」では生い立ちからF1時代のエピソードや、チャレンジの素晴らしさについて熱く語られました。また、「夢の実現には、あれこれ考え込まず、まず一歩を踏み出すこと」「チャレンジし続けることが私の人生そのもの」などの言葉で聴衆に感銘を与えました。



### 片山右京氏プロフィール

- 1963年 東京都出身
  - 1983年 レースデビュー
  - 1986~87年 フランス武者修行、攻撃的なドライブで「カミカゼ・ウキョウ」の異名をとる
  - 1988~91年 全日本F3000(フォーミュラニッポンの前身)参戦、91年にチャンピオン
  - 1992年 F1デビュー
  - 1993~96年 ティレルチーム在籍、レース中2位に上がるなど随所で速さを見せる
  - 1997年 チームを移籍、同年でF1引退
  - 1998~99年 トヨタよりルマン24時間レースに参戦、99年は終盤驚異的なペースで首位チームを追い詰めるものの、タイヤバーストで後退 惜しくも2位
  - 2001年 チームウキョウ設立
  - 2003~04年 トヨタチームアラコよりテレフォニカ・ダカールラリー参戦
  - 2005年 トヨタ車体チームよりテレフォニカ・ダカールラリー参戦
- 登山家としても有名 モンブラン(フランス)・マッターホルン(スイス)・キリマンジャロ(タンザニア)他に登頂 2002年にはエベレストにも挑戦  
現在、テレビ・ラジオ・講演・ボランティア活動等で活躍し、多忙な毎日を送る

## 先生紹介 Meet The Teachers

### 今年は3名の新入教員を迎えました

佐々木先生、加藤先生は当校の高度自動車科(旧自動車研究科)卒業生であり、丹羽先生は、大阪産業大学工学部出身ですが、各々が目指す目的・目標は同じであるはずで

す。トヨタ自動車の直営校の一員として、トヨタサービスの基本理念は3S精神(正確+親切=信頼)であり、それを具体化したトヨタサービス基本7項目を理解し、いかに学生に身につけさせるかを常に念頭において教壇に立って欲しいと願います。実習場を持っている当校では、4S(整理・整頓・清潔・清掃)を教員自らが理解し、日頃から学生に実践させ、安全作業・作業の効率化に繋がるということを理解させることが必要です。これが就職した時に必ず役に立つと考えています。また、当校の教育理念である「個性を尊重し、幅広い自動車技術を持ち、人間性豊かな人材を育成する」を常に念頭におき、学生指導にあたって欲しいと思います。教壇に立って教えるためには、自分自身が教える時間の少なくとも3倍の勉強をしないといけないとよく言われる通り、自己研鑽をし、常に知識や技術力の修得向上に努めることが必要であると、肝に銘じて欲しいと思います。教員として、知識や技術力が身につけていることが、学生に信頼される最低条件です。授業では、学生の立場に立ったわかり易い内容になることを常に考えて実行し、人間性育成においては「時には厳しく、時にはやさしく」とメリハリのついた指導を行って欲しいと思います。



理事 教育部 部長 山田幸一

昨今の若者は、技術や良い点を先輩や友人から盗み取ることが無い、非常に大人しく素直に見えると言われます。これを当校に当てはめると、かつての学生のように貪欲さや確固たる自分の将来を見据えた目標(夢)がないこととなります。つまり「人間としてどう生きるか?」という哲学が無いこととなります。これらの点を踏まえ、日頃の教育にどのように取り入れていけば良いかを今後一緒に考えていきたいと思っています。



佐々木先生

4月より1年エンジン担当の佐々木です。今年の3月まで自動車研究科(現在の高度自動車科)のつなぎを着て授業を受けておりました。私の目標である「トヨタ名古屋整備専門学校で一番元気な先生」を目指し、一日も早く一人前の教員として認めただけできるよう努力していきます。

教育部1年シャシ担当の加藤です。私は今年の春に当校の自動車研究科(現在の高度自動車科)を卒業しました。多くの事を学び1級小型整備士にも合格出来たので、これからは学生のために全力を注いでいきたいです。



加藤先生



丹羽先生

この度、4月に採用されました丹羽です。9月からのシャシの教科での本格的な授業デビューに向けて、この数ヶ月で得た自動車知識、技術を武器に、早く「学校での貴重な存在」になれる事を目標に頑張っていきます。

### ブラジルコース7期生修了式

在日ブラジル人整備士育成教育コースの修了式が8月4日(金)に行われました。この修了式にはブラジル大使館公使および在ブラジル名古屋総領事、ブラジルトヨタ長谷部社長など来賓を迎えて華やかに行われました。



### インストラクターのマルセロ・原口さん帰国

2004年7月から2006年8月まで、在日ブラジル人整備士育成教育の6期生・7期生を担当されたマルセロ・原口さんが、8月12日(土)ブラジルへ帰国されました。マルセロさんは日系3世で、ポルトガル語・スペイン語・英語が堪能。また、この度の勤務で日本語も上達しました。卒業式には学生が「感激の涙」を流し、学生への教育の成果が伺えました。

#### マルセロ・原口さんから一言

ブラジルトヨタから日本のトヨタ名古屋校にきて2年間、風邪をひく間もないほど忙しく、必死で頑張った2年間でした。学生達もこんな状況を察してか大変協力的で一生懸命勉強してくれました。学生達とブラジルで再び会うのが楽しみです。私的にもこの2年間に多くのことを体験することが出来ました。岐阜・長野・京都等を訪れ、祖父と祖母の国日本の素晴らしさに触れることができました。また、日本の家庭に招かれて日本人の暮らしを味わったり、名古屋場所の相撲や岐阜県長良川の鶴飼など、大変珍しく楽しいものに出会ったことも印象的でした。今年の4月、桜の季節にブラジルから祖母・母・弟が来日してくれました。祖母は日本に1カ月滞在してふるさとや各地を訪れ、人々との触れ合いに「これは夢じゃ」と感激していたのが印象に残っています。最後になりましたが、お世話になったトヨタ名古屋校の皆さん・トヨタ自動車の皆さんに感謝いたします。「ありがとうございました」△イト・オブリガード

## インバウンドコース Brazil Course

## News File

### トヨタ自動車デザイン部元部長による講演会

6月7日(水)、名古屋工業大学建築・デザイン工学科の教授であるとともに、トヨタ自動車デザイン部元部長である木村徹様に「21世紀の自動車デザイン」と題し、講演を頂きました。講演は自動車デザインの変遷について、ヨーロッパで誕生、アメリカで 대중化、日本でエコ化という時代の流れに沿った形で行われ、普段は自動車について技術的側面から接している学生も、デザインという観点から見ることで、自動車を幅広く理解することができました。また、質疑応答も活発に行われ、学生、教員共々大変有意義な講演会となりました。



### カナダ研修15thアニバーサリー

今年もカナダ研修に行ってきました。34名が参加し、昼間は板金と英会話プログラム。夜はそれぞれホームステイ先で楽しい時間を過ごし、約1ヶ月で帰国しました。さまざまな体験をし異文化にも触れた34名は、大きく成長して帰国しました。この貴重な体験を財産として、各方面で活躍してくれる事でしょう。

今年も研修が始まって15年目という節目の年でもあったため、修了式には15周年記念式典も執り行なわれました。過去の引率者も数名参加し、OC(旧OUC)スタッフも懐かしんでいたのが印象的でした。初回から通訳を務めて頂いた京子さんは今年限り。板金講師のクリスさんも近々引退という事で、色々な意味で節目となる研修でした。



### 空手部

#### 初優勝&3位入賞!

6月4日(日)、愛知県体育館にて開催された「武神 KARATE ALL JAPAN CUP2006」にて、当校空手部が初優勝、3位入賞を果たしました。空手部立ち上げ以来、5年目にして初の快挙となりました。これも、歴代の先輩方のおかげと深く感謝しています。今後も空手を通じて、心身共に鍛えていきたいと思ひます。



### 野球部

#### 勝利の予感!

野球部は、2年生7名、1年生9名で週2回活動しています。2年生には、甲子園経験者も含まれており、選手層も厚くなってきました。グラウンドのバックネットも新しく張り替えられました。ソフト面、ハード面共に充実した今年こそ、県大会優勝を果たし、全国大会に出場したいものです。



### バレー部

#### 2年連続全国大会出場!

6月下旬から7月上旬にかけて、東海地区専門学校バレーボール選手権大会が開催されました。当校のバレー部は、短時間で部員募集、チーム作りを行ってききましたが、それが見事に実を結び、準優勝という功績を残すことができました。大会期間中は蒸し暑く体力も要求されましたが、苦しい場面でも選手たちは持ち前の元気の良さを発揮し、はつらつとした笑顔で粘り勝ちをすることができました。次は、2年連続出場となる全国専門学校バレーボール選手権大会で、上位入賞を目指したいと思ひます。



### バスケットボール部

#### 2度目の全国大会で去年の雪辱を!

全国大会初出場となった去年の沖縄大会では、選手たちは気温より熱い汗を流して奮闘しましたが、結果は全敗。改めて全国の壁の高さに圧倒された結果となり、沖縄のビーチの青い波のように選手たちの青春も消え去ることとなりました。その雪辱を晴らす絶好の機会が、二度目の全国大会出場となる今年の東京大会。「ゴール下のパワープレイはなかなか繰り出せないが、今年のチームは、去年にない熱いエネルギーとソウルを感じる」とは、総監督である藤岡昌平氏。大都会東京で、トヨタ名古屋整備専門学校バスケット部精鋭達の熱い何かが動き出します。2006年8月10日開幕です。ご期待ください。



### 学園祭予告

# Campus Festival

毎年恒例となった、トヨタ名古屋校学園祭が今年も11月4日(土)、5日(日)に開催されます。テーマは「愛 in the story~絆から愛へ、新たな1ページ~」と、素敵なものとなっています。今年は創立45周年ということもあり、いつもの学園祭とはちょっと違った物語が繰り広げられます。特に、日頃勉強している整備技術を生かした整備コンクールは、間近で見る整備技術の迫力を体感でき、選手と応援団が丸となってチームを盛り上げる、学園祭の柱です。また、整備技術から学んだ知識をもとに、研究発表が行われます。「自動車に隠された性能」をテーマに、さまざまな車に関する安全、環境対応などの発表が行われる予定です。他にもさまざまなイベントが開催されます。この機会に、普段では感じることのできない、トヨタ名古屋校を体験してみませんか。

#### 告知

学園祭で川嶋あいさんのコンサート実施!!

日時:11月5日(日)  
12:30開場 13:00開演  
会場:当校学生会館アリーナ



## Information

### 2007年4月入学生募集

いよいよオープンキャンパスも終盤戦です。学校選びの参考として是非ご参加ください!また、10月からは入試も始まります!推薦書・進学用調査書等、必要書類は早めに準備しましょう!!



### オープンキャンパス

- ◆学校見学会 9月16日(土)
- ◆入試説明会 9月23日(土) 当校にて開催  
9月30日(土) 当校・大阪・広島・福岡にて開催  
※好評につき当校でも開催決定

百聞は一見に  
しかず!

### 入試情報

- ◆自動車整備科(2級コース) [指定校推薦入試] 10月13日(金)・14日(土) [一般推薦入試] 10月21日(土)・22日(日) [一般入試] 1回:10月28日(土)・29日(日) 2回:11月11日(土) 3回:11月25日(土)・26日(日) 4回:2月24日(土)・25日(日)
- ◆高度自動車科(1級コース) [推薦入試] 10月13日(金)・14日(土) [一般入試] 1回...11月11日(土) 2回...3月5日(月)

10月より、いよいよ入試が始まります!



### 今後のおもなスケジュール

- ◆1年定期試験(自動車整備科) 9月14日(木)~9月22日(金)
- ◆学園祭 11月4日(土)~11月5日(日)
- ◆校内企業説明会 11月15日(水) ネット店 11月16日(木) カローラ店、ダイハツ店 11月17日(金) トヨタ店、トヨペット店 11月28日(火) トヨタ関連会社
- ◆冬休み 12月25日(月)~1月9日(火)